

日置市 社協だより

明けましておめでとうございます

本年も、日置市社会福祉協議会は、「“とも”に生き 共に創る 心豊かなまち」
実現のため、市民の皆様と共に様々な事業を通して、地域福祉を推進して参ります
ので、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

第18回日置市社会福祉大会・第5回日置市障がい者福祉大会
～ひとりひとりが主人公 みんなが活躍できるまち～



新年のご挨拶／日置市福祉作文・標語コンクール…………… P2
 第18回 日置市社会福祉大会／第5回 日置市障がい者福祉大会 …… P3
 ボランティアセンターから発信 やってみっど!…………… P4・P5
 ひおきよりそい支援員養成講座／フードバンク事業…………… P6
 ラボちゃんからのおしらせ…………… P7
 寄附金の状況…………… P8

SNSはじめました！
フォローおねがいします



フェイスブック



インスタグラム

広報誌
日置市社協だよりは
本会ホームページでも
ご覧いただけます。



新年のご挨拶

社会福祉法人
日置市社会福祉協議会
会長 宮路高光



新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
旧年中は、当会の運営事業につきまして、深いご理解とご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
当会では、令和四年三月に、第三期地域福祉活動計画を策定し、諸事業に取り組んでいるところですが、近年は、地域課題が多様化しており、制度の狭間においては、様々な生活課題も浮き彫りになってきています。
その中で、当会では、生活困窮者等を支援することを目的に、今年度より、「フードバンク事業」を立ち上げ、また、鹿児島県社会福祉法人経営者協議会が主体となって展開している「かごしまおもしろいやりネットワーク事業」に加

入・開始し、市民の皆様をはじめ、行政や関係機関団体、地縁組織等の方々にご理解とご協力をいただきながら、対象者に寄り添った支援活動を進めています。
ウィズコロナ時代の今、誰もが住み慣れた地域で、安全・安心して心豊かに暮らせる地域社会を構築していくには、地域住民が様々な課題を「我が事」として捉え、考えることは不可欠です。共に支え合い、助け合う「共生社会」の実現を目指した取り組みが求められており、我々、「社会福祉協議会」においては、地域におけるプラットフォーム（人と人をつなぐ組織）としての役割と機能を果たすため、役員一同、努めて参ります。
市民の皆様におかれましては、幸多く、充実した一年になりますよう、ご祈念申し上げます、年頭の挨拶といたします。

日置市福祉 作文・標語コンクール

最優秀賞 / 優秀賞 / 学校賞



福祉作文 (敬称略)				
最優秀賞	「大好きなじいじ」	鶴丸小	4年	鮫島陽香
優秀賞	「ばあちゃんはおたすけまん」	妙円寺小	3年	新名主愛希
福祉標語 (児童の部・生徒の部) (敬称略)				
最優秀賞	「どうしたの いえるゆうきと さしだすて」	妙円寺小	4年	西須なつ奈
優秀賞	「たくさんの 笑顔を守る やさしい心」		6年	大槻陽向
優秀賞	「ぼくの笑顔で みんなに幸せ 届けよう」		6年	前本清二郎
最優秀賞	「温かい 分かろうとする その気持ち」	日吉学園	9年	畠中優妃奈
優秀賞	「手をつなぎ 君のやさしさ バトンパス」		8年	有馬虎太郎
優秀賞	「つなぐ手と手 少しの勇気で あたたかい」		9年	外宮愛理
学校賞	妙円寺小学校		日吉学園	

日置市福祉作文等コンクール結果・作品につきましては、日置市社会福祉協議会のホームページに掲載しております。





第18回 日置市社会福祉大会 第5回 日置市障がい者福祉大会

開催日

令和4年
10月29日(土)



～ひとりひとりが主人公
みんなが活躍できるまち～



宮路高光会長



永山由高市長

第18回日置市社会福祉大会・第5回日置市障がい者福祉大会が、令和4年10月29日(土)東市来文化交流センターにおいて、感染症対策を講じながら開催されました。

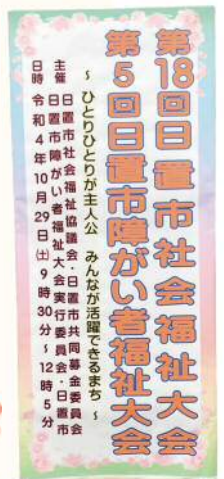
妙円寺フォーク村の皆さんの懐かしい歌と演奏によるオープニングセレモニーで幕を開け、表彰式では、多年にわたり日置市の社会福祉に功績のあった方や、多大な寄附をくださった方、福祉作文・標語の個人・学校への表彰が行われました。また、福祉作文入賞者2名には朗読発表をしていただきました。

同会場内では、就労支援施設の物品販売や、ボランティア活動紹介パネル等の展示も行われました。

今回、社会福祉大会と障がい者福祉大会が合同で開催されたことで、当事者や支援者等が一同に集うきっかけづくりとなりました。



日置市障がい者福祉大会
水流実行委員長



表彰内訳

社会福祉事業関係者福祉功労者 3名	福祉作文(最優秀賞・優秀賞) 2名	福祉標語(最優秀賞・優秀賞) 6名	学校賞 2校	感謝状 1名
----------------------	----------------------	----------------------	-----------	-----------





ボラフティアセフターから発信 やってみっど!

お願い

実施時期によっては、新型コロナウイルスの感染状況等により、学習内容や時間を制限させていただく場合があります。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

9/27(火)

福祉体験学習

東市来中学校 1年生79名

内容：講話（ふるさと学園）、グループワーク（社協）



講話



グループワーク



- ・福祉に関わることはとても難しいことをすると今まで思っていたが、自分たちにできることはたくさんあることを知れました。
- ・福祉は、障がい者や高齢者だけではなく、自分も地域の一員として、福祉に関わっているということを感じました。
- ・施設などでは、その人に合った取り組みや活動をしていることが分かりました。

- ・自分は困らなくても、車いすの人や高齢者、障がい者は困っているかもしれないと気づけた。
- ・手伝ったりするのはとても勇気がいることですが、みんなが地域で幸せに暮らせるために色々なことをしたいです。
- ・高齢者や障がい者を正しく理解する。困っている人をみかけたら、見守り、必要に応じて声をかけられるようにしたい。

10/22(土)23(日)

ボランティア活動紹介

鹿児島城西高等学校 社会福祉科1～3年生

妙円寺詣りフェスタの会場で、学生の皆さんがボランティア活動を行いました。

- 受付での手指消毒・検温
- ゴミ収集
- テーブル拭き など



皆さんの活動のおかげで安心して気持ちよく過ごせました。ありがとうございました。



10/25(火)

福祉体験学習

伊作小学校 4年生33名

内容：高齢者疑似体験、車いす体験



高齢者疑似体験

視界が
せまいなあ



車いす体験



高齢者疑似体験

- ・足首に重りをつけたりゴーグルをつけたりして、思うように足が動かなくて、視界がせまいから、だれがどこにいるのか分からなかった。
- ・体がおもくて、かいだんを上げるのもせいっぱいだった。
- ・高れい者は、あんなにたいへんなことが分かりました。

車いす体験

- ・くんだり道ときは、前におすんじゃなくて、後

- ろにさがっていくのがびっくりした。
- ・ふつうの人は少し高いいちでもとどくけど、車いすにのっている人は、高いいちのものがとりにくいことが分かった。

今後、どのように活かしていきたいか

- ・町で高れい者や車いすの人を見かけたら、自分から「だいじょうぶですか？手つだいましょうか？」と声かけをしたいです。
- ・スーパーとかでこまっていたら、声をかけてたすけたい。

11/10(木)

福祉体験学習

鶴丸小学校 6年生34名

内容：講話・交流（ふるさと学園）、高齢者疑似体験（社協）



交流



高齢者疑似体験

TRY!

軍手を2枚、重ねてつけてみよう！

講話・交流

- ・障がいがある方との関わり方や気持ちを考えられた。自分が当たり前ではなく、いろいろな人にそれぞれの当たり前があるのだと知った。
- ・とても楽しく、協力して交流ができた。
- ・ふるさと学園の方が話していたので、よく耳を向けて聞くと「給食をいっしょにたべたい」と言ってくれました。ばくはともうれしくなりました。

高齢者疑似体験

- ・自分がいつもできていたことが、できなくなっていくことの複雑な気持ちを味わえた。おじいちゃんおばあちゃんがなんであんな行動をとるのか分かった気がした。

- ・目が見えにくい人だったり、高齢者の人たちがいつも感じていることが今まで分からなかったけど、今回の体験で感じていること、不安なことが分かったから、今回の体験をふまえて、しっかりと支えてあげたい。

今後、どのように活かしていきたいか

- ・自分がもし、障がいのある人に頼られて、どう行動するのか、自分が本当にできるのか自信が無かったけど、工夫をしたり、思いやりの心をもつことが一番大切だと分かったので、積極的に動きたい。
- ・いろいろな人の立場になって考えることができたので、身近にいる人や障がい者、高齢者の方々の少しでも役に立てればいいなと思います。



第1回 9月21日(水)

講話「日置市の現状・発達障害や精神疾患について」
講師：日置市役所 福祉課



第2回 9月28日(水)

講話「ひきこもりの方への理解と支援」
講師：ひきこもり地域支援センター 福園翔 氏



第3回 10月5日(水)

講話「傾聴について」
講師：志學館大学 大島 英世 氏



第4回 10月12日(水)

講話「居場所づくり」
講師：地域活動支援センターどりかむ 大山 哲也 氏



第5回 10月19日(水)

グループワーク「居場所づくりに向けて」

ひおきよりそい 支援員養成講座

生きづらさを抱えた人々が、住み慣れた地域で安心して心豊かに「その人らしい」生き方ができるよう支援する人を育成し、ひおきよりそい支援員として地域で活動する人を養成するために開催しました。今後、居場所づくりへ向けて動いていきます。



受講者の感想 [参加者 16名]

講座を受講して、寄り添うということを少し理解できたと思います。今後いろいろなシーンで活かしていきたいと思いました。

毎週水曜日がとても楽しみでした。毎回とても勉強になることばかりで参加して本当に良かったです。これからも地域の人に寄り添える人でありたいと思います。

新しい情報も知ることができ、気持ち的に楽になりました。

実際の支援の現場にいる方のお話や体験談にとっても感動しました。何か力になればと思いました。

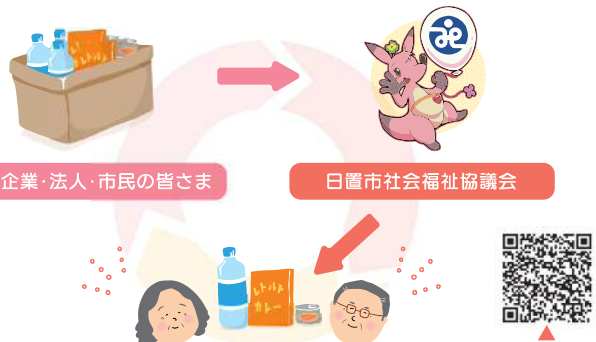
あらためて学び続けることの大切さも実感しました。またこのような講座があれば受講したいと思います。

はじめてこのような会に参加して、同じ思いを持った方々と出会えて感謝しています。日置市で誰でも来られて「ホッとできる場所」が作っていると地域の方々にとっても住みやすい町になっていけると嬉しいです。

フードバンク事業

日置市社協では、フードバンク事業を開始しました。新型コロナウイルス感染症の影響等による休業や失業、収入減少など、生活の変化による困りごとや見守りを必要とする世帯に対し、食料支援を行っています。皆さまからの食料寄贈もお待ちしております。

ご支援・相談等は、最寄りの社協各支所へお問い合わせください。



詳しくはQRコードで読み取り！
もしくは、
日置市社会福祉協議会で検索

ラボちゃんからのおしらせ



ご紹介コーナー

吉利中区
にこにこサロン（日吉）

- 日時：令和4年10月20日（木） 10：30～12：00
- 場所：吉利地区公民館 体育館
- 参加者：32名

10月に開催されたサロンへ、生活支援コーディネーターが訪問させていただきました。

はじめに、参加者のハーモニカ演奏に合わせて、吉利小・中学校の校歌などを皆さんで歌われていました。



その後の遊具を使ったゲームでは、笑い声や拍手が絶え間なく起こり、とても楽しんでいる様子でした。

参加者の声

- ・一人暮らしのため、多くの人と会える
こういう場があることは、ありがたく楽しい



ご予約・ご相談等は、
最寄りの社協各支所まで

サロン遊具貸出中！

お気軽にお問い合わせください！

日置市社協では、サロン等の活動に役立てていただくために、遊具の無料貸出を行っております。座ってできるものから、身体を動かすものまで、みなさんで楽しめる様々な遊具があります。



デイサービス 東市来事業所



「住み慣れた地域で、
いつまでも安心して暮らしたい！」
を私たちがお手伝いします。



七夕



運動会の様子

専門スタッフでより安心・安全で快適に過ごしていただけるように、日々意見交換や研修を繰り返しながら明るい雰囲気支援しています。



お野菜作りも

1日のスケジュール

- | | | | | | |
|------------------|----------------|------------------|---------|-----------|----------------------------------|
| ● 8:30 | ● 9:00～12:00 | ● 12:00 | ● 13:45 | ● 14:50 | ● 15:20 |
| ・お迎え
・お茶とお茶菓子 | ・健康チェック
・入浴 | ・日常動作訓練
・機能訓練 | ・昼食、休憩 | ・レクリエーション | ・お茶
・デイサービス終了
(ご自宅にお送りします) |

デイサービスについてのお問い合わせはこちらまで **099-274-6565**



お誕生日会の様子

